

安心・安全な水道を未来に継承していくために
～福知山市水道ビジョン・概要版～



～安心・安全な水道を未来に継承していくために～
福知山市水道ビジョン 平成21～30年度

福知山市ガス水道部 水道課

住所 〒620-0876 福知山市堀(水内)945番地

TEL 0773-22-6502

FAX 0773-22-6555

電子メール suidou1@kouei.fukuchiyama.kyoto.jp

ホームページ <http://www.kouei.fukuchiyama.kyoto.jp/>



平成21年11月

福知山市 ガス水道部

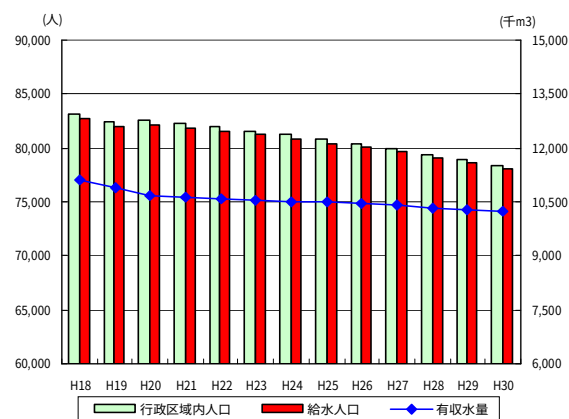
1. 福知山市水道ビジョン策定にあたって

福知山市の上水道事業は、昭和 6 年に創設認可を受けて昭和 8 年に給水を開始して以来、これまで 5 回にわたる拡張事業を行い、安定給水に努めてきました。

また、簡易水道では昭和 28 年に岩戸簡易水道事業を創設、順次整備を進め、市町合併を経て、現在 12 簡易水道事業となり、本市の水道普及率は 100% 近くに達しています。

しかし、人口の減少や節水機器の普及などのため有収水量が減少傾向であり、水道事業の経営は厳しさを増すことが予想される中、老朽化しつつある施設、経年管路の更新、災害等緊急時に備えた基幹水道施設の耐震化などの課題を抱えており、これらの対応には多大な時間と費用を要することから、計画的、効率的に事業を行っていく必要があります。

本市水道事業の現状と課題、将来像を示し、今後ともお客様のために安全で良質な飲料水を安定供給していくため、平成 21 年度から平成 30 年度までの 10 年間の計画期間とした「福知山市水道ビジョン」を策定することとしました。



2. 水道の基本理念と目標、実施施策の概要

基本理念

安心・安全な水道を未来に継承していくために

目 標

実施施策の概要

健全

健全で開かれた事業運営

- 財務体質の改善を図り、公平負担を原則に適正な料金体系の確立を目指します。
- 事業の優先度と必要性を十分判断し、維持管理の効率化を図りながら、コスト縮減に努めます。

安心

安心して飲める水道水の供給

- 厳しい水質基準をクリアした水を提供していますが、「水安全計画」の策定など更なる水質管理の強化を行います。
- 鉛製給水管の更新や直結式給水の推進、貯水槽水道の管理指導強化を行います。

安定

災害に強く安定した水道水の供給

- 耐用年数を超過した上水道創設当時の施設を更新（耐震化）します。
- 耐用年数を迎える昭和 40～50 年代の拡張期に布設した基幹管路を計画的に更新（耐震化）します。
- 主要給水拠点までの管路耐震化、応急給水用具の整備など災害に強い水道を目指します。

持続

ライフラインとして将来にわたって使い続けられる水道

- 平成 29 年度に全ての簡易水道を上水道に経営統合します。
- 集中監視設備の整備など施設管理体制の強化を図ります。
- 多様化する水道の課題への対処や災害などの緊急時に迅速な対応が出来るよう職員の育成を行います。
- お客様ニーズを的確に把握し、事業に反映させるとともに積極的な情報発信に努めます。

環境

環境に配慮した水道の整備

- 省エネルギー対策の推進、資源の有効利用に努めます。

事業計画表

事業名	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
主要施設の更新・耐震化			平成30年度以降も継続的に事業を実施							
耐用年数超過施設の解消			完了							
経年管の更新・耐震化			平成30年度以降も継続的に事業を実施							
基幹管路の更新			完了							
主要給水拠点までの 管路耐震化			災害拠点病院 災害時要配慮者避難施設 広域避難所 500人以上収容の避難所 完了							
鉛製給水管の更新 目標年度平成33年度			平成30年度以降も継続的に事業を実施							
水安全計画の策定	策定	必要に応じて見直しを行う								
貯水槽水道の管理 受検率の向上	目標 100%									
簡易水道の上水道統合		牧川筋簡易水道との施設統合				その他の簡易水道との経営統合				
直結式給水の拡大 データ整備等準備作業	準備	水圧状況等に応じて実施								
有効率の向上	目標 95%									

3. ビジョンの推進方策

福知山市水道ビジョン推進にあたっては、お客様の意見や要望を取り入れながら、5 年目に事業計画の点検と見直しを行い、9 年目の事業計画の点検結果を基に平成 30 年度に新規ビジョンの策定を行います。